

総括質疑

DIY工房の運営は慎重であるべき

計画練り直し費用縮減を図った

千葉委員

DIY工房事

業については、昨年3月

に開催された「ものづく

りDIY工房推進協議

会」の中でも一部の出席

者から疑義が出されている

。DIY工房の運営に

ついては、慎重であるべ

きと考えるが、見解は。

町長 DIY工房の整備

は、ものづくりを通じた

人材育成や地域経済の活

性化、さらに商店街の活

性化問題解決のための重

要な施策の一つになるも

のと考えている。

指摘を受けた工房整備

については、計画を練り

直し、単独設置から都市

再生整備計画事業におけ

る地域観光交流拠点施設

に組み込み、費用縮減を

図るほか、利用対象者の

拡大など工夫と見直しを

行った。

運営にあたっては、新

たな法人組織による運営

を考えており、将来的に

は自立して運営していく

ことを想定している。さ

らに関係団体と十分連携

を取りながら進めたい。

千葉委員 なぜ栗山町で

DIY事業という声が寄

せられている。これが人

口減少対策になるとは考

えられない。

町長 事業の伸びしろは

無限大と考えている。雇

用の創出、交流人口の拡

大、さらに多面的な経済

効果の創出など事業効果

があると考えてる。

千葉委員 地方創生交付

金ありきで、DIY事業

を後付けたというのが実

態ではないか。DIY工

房が必要だということ

だったとは思えない。

町長 地方創生、賑わい

創出について、これまで議論してきたところであり、その指摘は当たらない。

町長の反問

町長 疲弊が進む商店街

の活性化、地域の活性化

の問題を解決しなければ

ならないと考えていると

思うが、DIY工房の整

備に対してここまで疑義

を唱えられるのであれば、この機会に委員が展

望する商店街や地域の活

性化対策について具体的

に教授願いたい。

千葉委員 私はこの事業

そのものを否定している

わけではない。すでに議

決はされているが、財政

規模が大きすぎて町民の

理解が得られないのでは

ないかという危惧から質

問をしている。町全体の

新町通り再開発などは計

画どおり進めていけばい

いと考えている。

